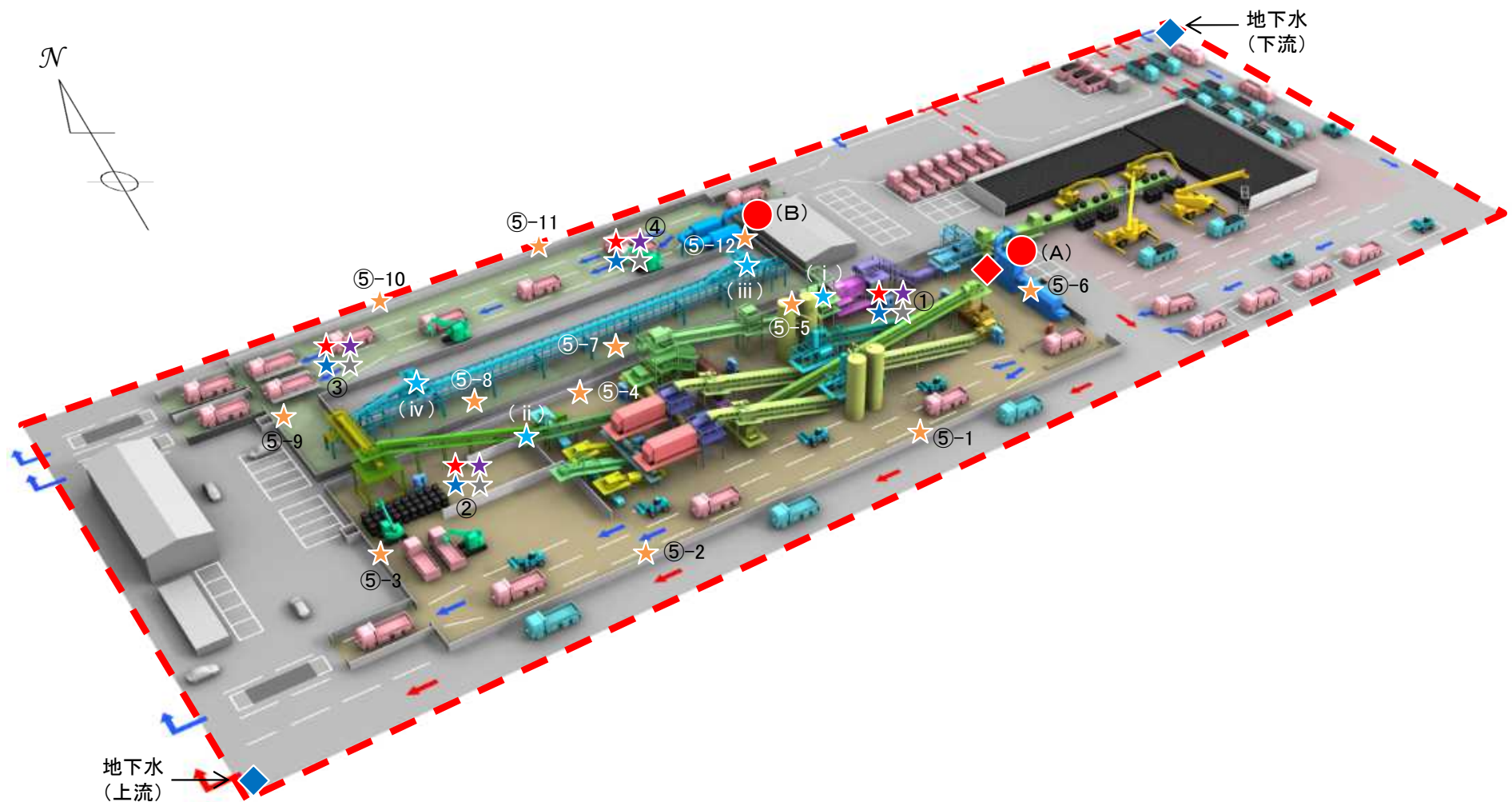


受入・分別施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



★:施設の位置

【 凡例 】

◆ : 地下水中の放射能濃度等

● : 排気中の放射能濃度

◆ : 排水中の放射能濃度

★ : 粉じん濃度

★ : 空間線量率(作業環境)

★ : 空気中の放射能濃度

★ : 表面汚染密度(床)

★ : 表面汚染密度(壁)

★ : 表面汚染密度(設備)

--- : 敷地境界線



受入・分別施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND
	2020/3/5	(稼働後)	67	13	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	26	12	ND
	2020/3/5	(稼働後)	37	14	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/3/5 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 0.2 Bq/m³、ドレン部： 0.9 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2020/3/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	1.2
②	2.0
③	0.8
④	0.9

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.11
②	0.17
③	0.17
④	0.18

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/5 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/3/5 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND
	2020/2/6	(稼働後)	53	13	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	26	12	ND
	2020/2/6	(稼働後)	38	12	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2020/2/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.8
②	0.5
③	0.3
④	0.6

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/2/6 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/2/6 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.9 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/6 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.12
②	0.18
③	0.17
④	0.17

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/6 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

受入・分別施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND
	2020/1/9	(稼働後)	50	14	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	26	12	ND
	2020/1/9	(稼働後)	35	14	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/10 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	1.2
②	0.3
③	0.5
④	1.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/1/10 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/1/10 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.9 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/10 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.13
②	0.18
③	0.18
④	0.18

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/10 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

受入・分別施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年12月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/1/17 (稼働前)	47	10	ND
	2019/12/5 (稼働後)	54	15	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)	26	12	ND
	2019/12/5 (稼働後)	37	15	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/12/5 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 0.3 Bq/m³、ドレン部： 0.9 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/12/5 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①	4.1
②	2.5
③	0.3
④	0.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/12/5 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.13
②	0.17
③	0.19
④	0.19

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/12/5 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/12/5 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年11月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND
	2019/11/11	(稼働後)	67	10	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	26	12	ND
	2019/11/11	(稼働後)	37	13	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2019/11/11 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.5
②	0.4
③	0.1
④	0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/11/11 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/11/11 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.9 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/11/11 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.11
②	0.16
③	0.18
④	0.16

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/11/11 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

受入・分別施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年10月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND
	2019/10/7	(稼働後)	60	11	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	26	12	ND
	2019/10/7	(稼働後)	45	18	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/10/7 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 0.2 Bq/m³、ドレン部： 0.9 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/10/18	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/10/7 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①	1.9
②	0.9
③	0.1
④	0.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/10/7 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.13
②	0.17
③	0.18
④	0.18

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/10/7 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/10/7 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) ドリッパーコンベア	ND
	(iv) ドリッパーコンベア	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年9月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/1/17 (稼働前)	47	10	ND
	2019/9/3 (稼働後)	57	9.0	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)	26	12	ND
	2019/9/3 (稼働後)	43	22	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/9/3 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 0.2 Bq/m³、ドレン部： 0.9 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/9/3 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.3
②	3.1
③	1.1
④	0.6

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/9/3 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.13
②	0.18
③	0.19
④	0.17

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/9/3 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/9/9 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年8月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND
	2019/8/8	(稼働後)	53	10	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	26	12	ND
	2019/8/8	(稼働後)	41	25	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/8/8 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 0.2 Bq/m³、ドレン部： 0.9 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/8 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.9
②	1.8
③	4.8
④	0.6

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/8/8 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.13
②	0.18
③	0.18
④	0.17

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/8 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/8/8 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年7月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND
	2019/7/3	(稼働後)	52	9	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	26	12	ND
	2019/7/3	(稼働後)	31	19	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/7/3 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.3 Bq/m³、ドレン部：0.7 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/7/3 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	4.6
②	2.3
③	1.0
④	3.0

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/7/3 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.11
②	0.17
③	0.22
④	0.20

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/7/3 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/7/3 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパーコンベア	ND
	(iv) トリッパーコンベア	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第2期双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年6月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND
	2019/6/5	(稼働後)	48	12	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	26	12	ND
	2019/6/5	(稼働後)	27	17	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/6/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 0.2 Bq/m³、ドレン部： 0.7 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/6/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.5
②	0.4
③	0.5
④	1.8

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/6/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.11
②	0.16
③	0.23
④	0.20

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/6/6 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137： 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/6/5 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパー-コンベア	ND
	(iv) トリッパー-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第2期双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年5月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND
	2019/5/8	(稼働後)	59	12	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	26	12	ND
	2019/5/8	(稼働後)	49	45	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/5/8 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.8 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/5/8 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	2.8
②	1.9
③	1.0
④	0.8

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/5/8 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.12
②	0.16
③	0.20
④	0.20

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/5/8 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.7×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 5.7×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/5/8 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第2期双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年4月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/1/17 (稼働前)	47	10	ND
	2019/4/5 (稼働後)	54	12	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)	26	12	ND
	2019/4/5 (稼働後)	25	11	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/4/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部： 0.2 Bq/m³、ドレン部： 1.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/4/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	1.4
②	1.2
③	0.4
④	0.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/4/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.11
②	0.23
③	0.21
④	0.21

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/4/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.7×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 5.7×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/4/5 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.34 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²